

1分でわかる！EPLAN News

EPLAN V2.9 がリリースされました。



■ EPLAN V2.9とは・・・

- 2020年2月リリース（EPLAN Japanリリース案内）
- 細やかな機能面でのアップデートにより、より設計作業が快適にできるようになりました。

■ 内容

EPLANバージョン2.9では、EPLAN内でハイパーリンクを記録したQRコードを生成できるようになりました。モバイルデバイスを使えば、そのQRコードを読み取るだけで、現場で関連情報を開けるようになります。またレイヤー管理機能によって、すべての変更を確実に自動保存するとともに、以前にも増して社内規格の適用・運用を簡単なものとします。拡張されたナビゲーター機能を使えば、プロジェクトデータを一括編集できます。標準化の面では、マクロをさらに簡単に再利用できるようにしました。

EPLAN-News 2.9

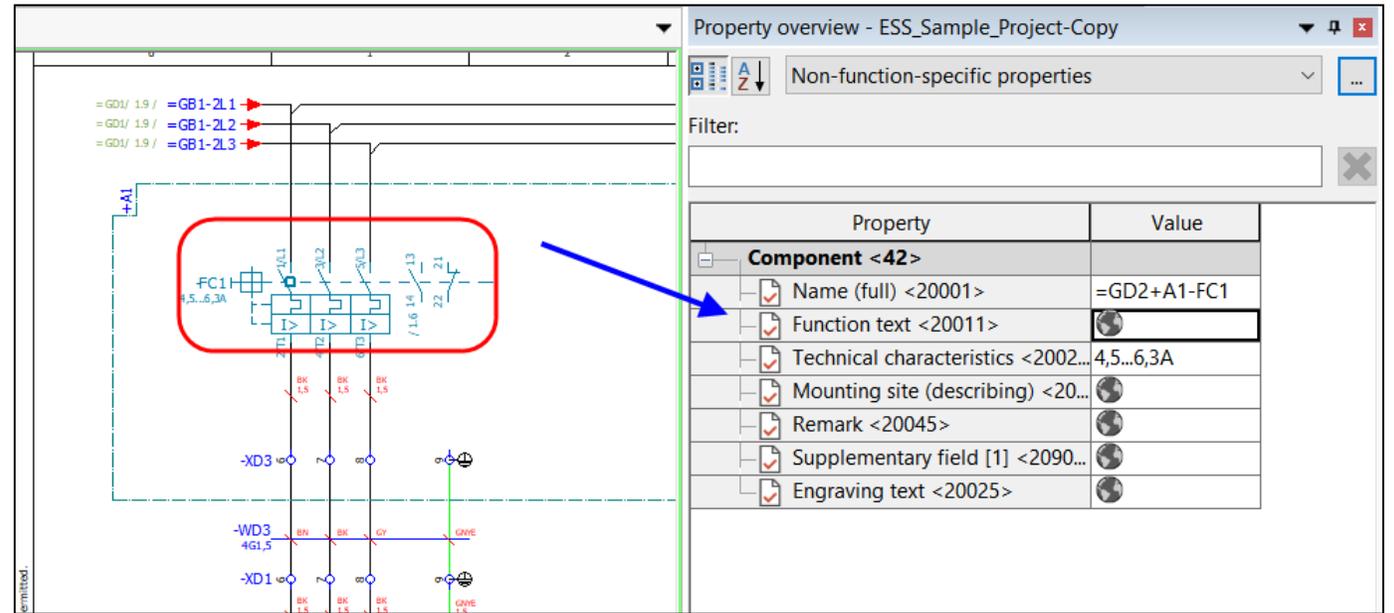
プラットフォーム→ユーザーインターフェイス→
プロパティを編集するための新しいドッキング可能ダイアログ

アップデート内容一例

 Benefit:



- プロパティ概要を使うと、複数のプロパティのダイアログを開いたり閉じたりすることなく、**異なるオブジェクトのプロパティ**編集がすばやくできます。
- 重要なプロパティのみが表示されるように、ドッキング可能ダイアログを**構成**できます。



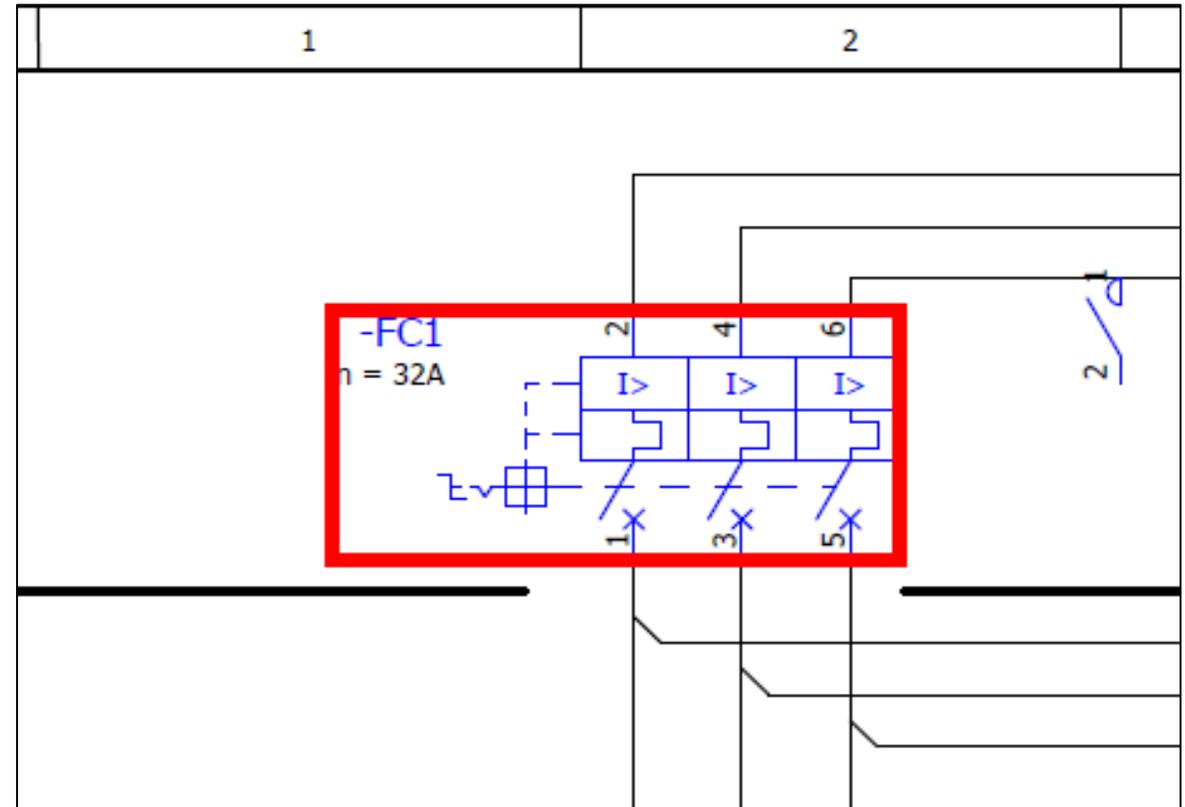
プロパティ(グローバル)モードが有効化されていても、
プロパティ概要ダイアログで分散機能をグローバル編集することは**できません**

プラットフォーム → ページ → PDF エクスポート – PDF内で ジャンプ先に新しいマーク

 Benefit:



- ジャンプ先が赤枠で表示され、わかりやすくなりました。



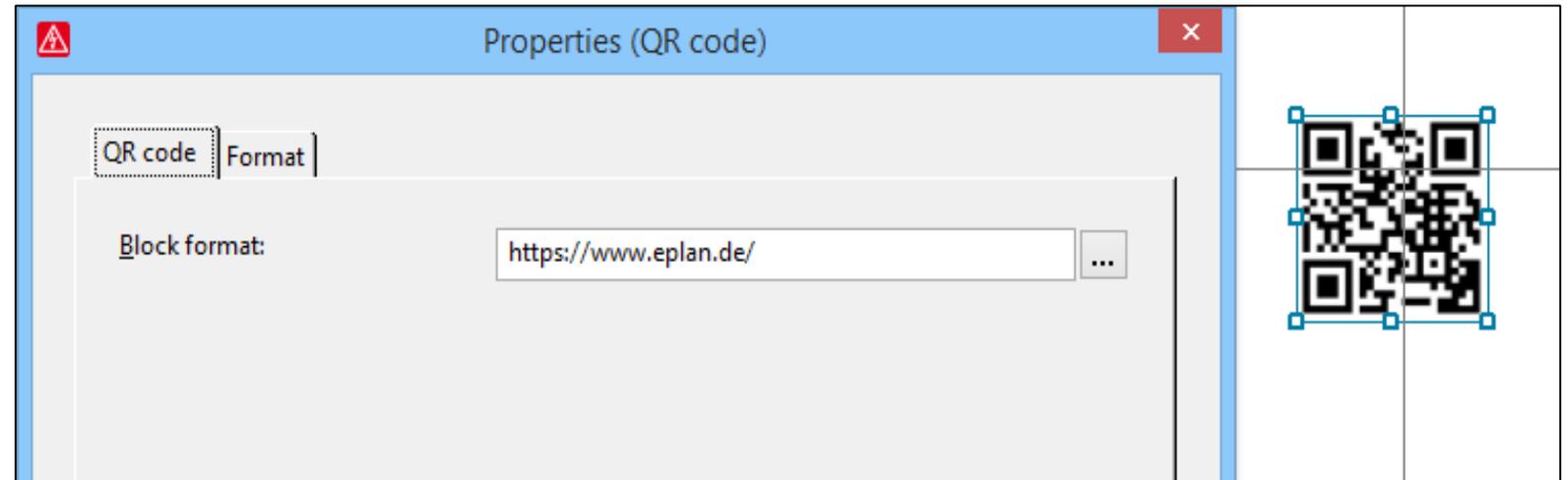
ページ説明のページプロパティを再度開く時間を短縮します。

プラットフォーム→グラフィカルエディター→QRコードの挿入と出力

 Benefit:



- **QRコード**をEPLANで生成し、ドキュメントにハイパーリンクを保存。印刷した後、モバイルデバイスで読み取り、開くことができます。



編集時にQRコードの向きを変更することは禁止されているため、**編集 > 回転** または **編集 > ミラー** を使用して **QRコード** を編集することはできません。